

平成 2 7 年度 事業計画・収支予算書

 社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会

平成 27 年度より、新社会福祉法人会計基準に準拠した会計区分や勘定科目による資金収支計算書となっています。

資金収支予算書は前年度予算額を併記した表となっていますが、旧基準に準拠した平成 26 年度資金収支予算額とは対比できないことから 0 円表示としています。

平成 27 年度 横浜市中区社会福祉協議会 事業計画

少子高齢化の進展とともに、家族形態の変容や地域福祉の基盤である地域社会も変わりつつあり、見守りや支え合いなどの地域の仕組みを工夫することにより、地域課題の解決を図っていく必要があります。

そこで、地域で取り組まれている様々な活動を再確認し、関係機関等と共有しながら、新たな活動の開発や、これまで培ってきた地域活動者の経験と知識を切れ目なく次世代につなげていけるように、新たな担い手の発掘育成に努めていきます。

本年度は中なかいいネ！中区地域福祉保健計画第2期計画（平成23年度～平成27年度）最終年の計画の仕上げの年であるとともに、次期の第3期計画（平成28年度～平成32年度）策定の年でもあります。区役所、地域ケアプラザと連携しながら第3期計画の策定に当たるとともに、地区別計画の策定支援をとおして、本会の基本理念である「地域に住んでいる一人ひとりが生き生きとして安心して暮らせるまちづくり」を目指して活動します。

中なかいいネ！中区地域福祉保健計画

2つの重要テーマと7つの重点取組

～重要テーマ～

◇地域のつながりと

住民同士の支え合いの充実強化

◇活動の継続・活性化と

次代を見据えた人材育成

～7つの重点取組～

- I 地域の“見守り力”を高めよう
- II 子どもたちを育む世代間の繋がりを豊にしよう
- III 地域の様々なネットワークを強くしていこう
- IV 個性を認め合う共生社会を目指そう
- V 地域の人材を発掘し、育てていこう
- VI 中区の人材・育成を活かした取組を進めていこう
- VII 今ある活動を大切に続けていこう

地域の元気と力を引き出す支援と環境づくり

本会は区とともに、自治会町内会や地区社会福祉協議会など地域や団体等の主体的な活動を側面的に支援し、中区の特性や地域資源を活用しながら、様々な主体との協働により、効果的な地域支援をすすめます。

平成27年度横浜市中区社会福祉協議会 事業計画目次

1. みんなで支えあう地域づくりのために	ページ
(1) 福祉の啓発・広報活動	5
(2) 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業	5
2. 住民の主体的活動への支援のための事業	
(1) 地区社協活動への支援	6
(2) 身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進	7
(3) 地域ケアプラザとの連携・支援	7
(4) 地域福祉保健活動への支援事業	8
3. 福祉教育やボランティア活動の活性化	
(1) 福祉教育の推進	8
(2) 中区福祉保健活動拠点なかふく及び中区ボランティアセンターの運営	9
(3) 災害ボランティアセンター設置に向けた取り組み	11
(4) 善意銀行・ボランティアセンター運営委員会の運営	11
(5) 外出・社会参加の支援	11
4. 福祉の情報提供と相談	
(1) 情報提供	12
(2) 相談	12
(3) 生活福祉資金貸付事業	12
(4) 小災害見舞金・交通遺児援護事業	13
5. 当事者の組織化、社会参加促進のための事業	
(1) 高齢者福祉	13
(2) 障害者福祉	13
(3) 子育て支援事業	14
(4) 中区社協あんしんセンターの運営	14
(5) 中区自立生活等支援事業	15
(6) 移動情報センター事業	15
6. 法人運営	
(1) 本会の体制強化	15
(2) その他	16

《本書の構成》

1. みんなで支えあう地域づくりのために

(1) 福祉の啓発、広報活動

〔サービス区分・予算額：法人運営、福祉保健活動拠点運営、共同募金配分事業、福祉活動推進事業、3,393千円〕

①【中なかいいネ！発表会＆第30回中区社会福祉大会】

Ⅵ・Ⅶ・Ⅲ

7つの重点取組との関連を表しています。
四角囲いは特に関連の深いものです。

◆平成27年度 新規・重点事業◆

I 地域の“見守り力”を高めよう

《孤立を防ぐため、近隣同士がお互いに関心を払うことや、様々な担い手による身近な見守り活動、さらには見守りのネットワークづくりを進めていこう》

- ・第2期の最終年度として第3期への移行を円滑に実施し、第3期計画を策定します。また、中なかいいネ!「中区みんなで健康づくり」サイトを充実させます。
- ・地域での見守り関係を広げていく活動支援の一環として、今年度からは新たに見守りキーホルダー啓発事業を行います。また地区社協組織を中心に、ふれあいサロンやひとり暮らし高齢者食事サービス活動への支援を充実していきます。
- ・次世代を担う小中学生を対象とし、担い手体験を実施します。
- ・災害時の「自助」「共助」を高めるための取組を地域の中で広げて行きます。

II 子どもたちを育む世代間の繋がりを豊かにしよう

《安心して子育てができ、子どもたちが明るく元気に育つ環境づくりを進めよう。

地域の文化・催事や高齢者の経験・知恵を伝え、未来を担う次世代を育てよう》

- ・親子の広場事業等の開催に協力します。
- ・子育て世代が仲間づくりや情報交換を行ないながら交流するための、親と子のくつろぎスペース「マリンコーナー」を運営します。
- ・各地区社協における子どもたちと高齢者が交流する機会を支援します。
- ・中区の次の世代へも「中なかいいネ!」とつなげていきたい地域の取組を紹介していく「中区いいところ撮り」を継続していきます。
- ・「中区みんなで小さなおせっかい運動」の更なる浸透を図り、つながりを強める取組を行います。

III 地域の様々なネットワークを強くしていこう

《子育て支援や高齢者・障害者支援、健康づくりなど、様々な取組を進めているボランティアや団体、機関・施設及び行政等のネットワークを充実強化していこう》

- ・もっとも身近な地域福祉の推進役として活躍する地区社協を、第3期中なかいいネ!の地区別計画において推進の中核を担う主体ととらえ、各地区の状況に応じた支援を行います。
- ・サロンや食事会等の見守り活動を展開している各団体について、活動の状況や範囲を整理するとともに、活動が必要と思われる地域などへのサービス開発に取り組みます。
- ・地域ケアプラザと連携し、お互いが持っている地域情報を共有して地域活動の支援に活かします。
- ・障害当事者および団体の活動を支援します。
- ・地区社協役員研修・会員研修を実施することにより、情報や課題の共有化を図ります。

IV 個性を認め合う共生社会を目指そう

《高齢者や障害児・者、女性、子ども、外国人等それぞれの特性を理解し、それらの視点も生かした、誰もが安心して暮らせるやさしいまちをつくっていこう》

- ・教育機関や地域、企業等が実施する福祉教育活動への相談、企画などの支援を行います。

- ・学齢障害児とボランティアが交流を深める、中区障害児余暇支援事業の推進を支援します。
- ・障害への理解を深めるために中区障害者団体連絡会と協力し、地域防災訓練へ障害のある方と共に参加します。
- ・中区災害ボランティアセンター設置に備え、関係機関と訓練や勉強会および研修会等を実施します。

V 地域の人材を発掘し、育てていこう

《様々な工夫や仕組みづくりをしながら、今必要とする人材を確保していこう。また、将来の地域を担う人材を育て、若い力や発想をとりこんでいこう》

- ・福祉保健活動者及び団体に対し、福祉保健活動拠点の運営を通して活動の場を提供します。
- ・ボランティアについての関心を高め、知るきっかけづくりとなる講座の開催や現在の活動強化等、ボランティア活動の活性化・継続・発展のための支援を行います。
- ・障害のある方々の移動支援に関する講座を開催し、地域における障害に対する理解や外出時の付き添いや見守り活動のための担い手発掘を行います。

VI 中区の人材・育成を活かした取組を進めよう

《住む人だけでなく、働く人、学ぶ人、訪れる人、事業者や団体、機関・施設等、豊富な人材・資源を生かしながら、それぞれが力を合わせて取り組もう》

- ・福祉課題について認識を深め、本会の活動について広く理解を得ることと、地域貢献活動の取組を広く市民に知らせるため、中なかいいネ！発表会・中区社会福祉大会を開催します。
- ・「ちょっとだけボランティアプロジェクト」を展開し、社会人や学生の参加機会の拡大を図ります。
- ・「誰もが」「できることを」「できる時に」「できる所で」をキーワードに、4D活動を推進します。新たなボランティア活動者の発掘、活動者同士のつながりの構築、継続した活動となるよう支援を行っていきます。

VII 今ある活動を大切にして続けていこう

《地域や行政委嘱委員、ボランティア、活動団体・グループなど、中区の地域福祉保健の推進を支える活動を大切に、これからも活発に続けていこう》

- ・福祉の啓発や情報の提供を目的として広報紙等を発行します。また、ソーシャルメディアなどを活用し、より迅速な情報提供に努めます。
- ・地域福祉の推進を目的として、事業助成金を交付します。
- ・ボランティア活動者の情報交換等の場とするため、交流会を開催します。
- ・中区福祉保健活動拠点「なかふくまつり(仮称)」を開催し、拠点利用団体の横のつながりを強めます。

1. みんなで支えあう地域づくりのために

(1) 福祉の啓発・広報活動

[サービス区分・予算額：法人運営、地区社協活動支援事業、共同募金配分事業・1,008千円]

① 中なかいいネ！発表会＆第31回中区社会福祉大会】 **Ⅵ・Ⅶ・Ⅲ**

社会福祉功労者顕彰及び社会福祉の啓発と「中なかいいネ！中区地域福祉保健計画」の発表会を行い、区民の交流を図ります。

② 【区民への情報提供】 **Ⅶ・Ⅵ**

広報紙やホームページを通じて、区民への福祉啓発・情報提供を行うと共に、ソーシャルメディアなどを活用しリアルタイムでの情報提供を行います。

さらに、タウン紙・広報よこはま中区版の他、ハローよこはま等各種イベントも活用し、幅広い媒体を活用して情報提供に努めます。

- ・広報紙「社協瓦版 ふくしなか」 年4回発行
- ・ホームページ・ソーシャルメディアなどでの情報提供（通年）
- ・タウン紙・広報よこはま中区版・各種イベントへの情報提供（通年）

③ 【中区いいところ撮り】 **Ⅲ・Ⅶ・Ⅴ**

地域活動、資源、施設等中区の動き全てを対象にして「中区のいいところ」をテーマに投稿写真を募集、キャッチコピーを付けて広く紹介します。

ボランティア活動・地域活動をより身近に感じ知ってもらう事と併せ、中区が良い街であることを共有し、維持・発展していくことへの協力を募ります。

④ 【会員研修】 **Ⅲ**

本会会員及び会員の施設職員等を対象として、技術や専門性の向上、課題への対応等を目的に研修会を開催します。

(2) 中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業

[サービス区分・予算額：法人運営、共同募金配分事業、福祉活動推進事業・4,436千円]

① 【中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業】（新規） **Ⅰ**

第2期「中なかいいネ！中区地域福祉保健計画」から第3期への移行期である今年度は、第2期最終年を区民と協働で推進し、中区役所とともに広く区民への啓発を図るとともに、第3期策定に向けて取り組みます。

- ・地域活動の担い手体験
- ・中区みんなで小さなおせっかい運動
- ・「中区みんなで健康づくり」サイト、小さなおせっかい紹介投稿サイト「いいところ撮り」の運営
- ・中区民の健康づくり推進事業
- ・4D活動
- ・活動発表会「中なかいいネ！発表会」の開催
- ・中なかいいネ！通信の発行（年4回）

・見守りキーホルダー登録・啓発事業

②【東日本大震災復興支援事業「さんりく『がんばっぺし』心プロジェクト」Ⅰ・Ⅲ・Ⅵ

「中なかいいネ！中区地域福祉保健計画」の『4D活動』として、「港町」でつながる中区と、大船渡市を中心とする三陸地方(岩手県大船渡市・陸前高田市・釜石市 等)がこれからも強い絆で結ばれ、一日も早い復興を願い復興支援事業を実施します。

- ・「被災地花いっぱい運動」への支援・協力
- ・街頭募金活動の実施
- ・被災地特産品販売の実施
- ・ボランティアバスの実施

2. 住民の主体的活動への支援のための事業

(1) 地区社協活動への支援

〔サービス区分・予算額：地区社協活動支援事業、共同募金配分事業、善意銀行運営・4,770千円〕

①【地区社協活動助成金の交付】(重点) Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ

地区社協の運営と活動の推進を目的として各種助成金を交付します。

②【地区社協研修会の実施】(重点) Ⅲ・Ⅴ

(ア) 地区社協研修会

地区社協役員及び実務者を対象とした研修会を実施し、情報や課題の共有化を図ります。

(イ) 地区社協「出張ボランティア」ミニ講座

サロンや食事会、イベントなどで役立つ趣味の活動や、落語・楽器の演奏あるいは予防介護に関する講演など、地区の活動場所に講師が出向いて実施する「出張ミニボランティア講座」のメニュー内容の充実を図り、地域の活動を広げていきます。

③【地区別計画推進のために】(重点) Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ

地区社協の活動支援や情報提供のため、地区社協分科会、地域支えあいネットワークなどの場を有効活用します。

「中なかいいネ！中区地域福祉保健計画」＜地区別計画＞においては、地区社協が推進の中核を担っていく主体と考え、地域活動・役員会議などに一層綿密に関われる環境を考慮し、地域情報を収集し計画に関連する動きをサポートしていきます。

また、第3期の地区別計画策定においても、同様に地域と一体となり、策定について支援します。

④【地域見守り活動の支援】(重点) Ⅰ

より多くのひとり暮らし高齢者等を地域で見守っていくために、見守り訪問のきっかけとして、“みまもり安心グッズ「おふくろさん」(防災用品詰合せ)”を地区社協、民生委員・児童委員、自治会町内会、区役所協働で配布し、地域で支援の必要な人の把握と見守りの仕組みづくりを進めます。

⑤【各地区社協活動の情報発信】Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ

各地区社協の活動情報を把握してホームページ上や広報紙の中でその取組を地域へお知らせしていきます。

（２）身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業の推進（重点）Ⅰ・Ⅲ

①【身近な地域のつながり・支えあい活動の推進】

住民同士によるつながりや見守り、支え合いがより強くなる仕組みづくりを推進していくために、各地区担当者が地区社協や地域ケアプラザと協働し、地域に出向き次の取組を進めていきます。

- ・地域ケア会議に参加し、住民による要援護者とニーズ把握の仕組みづくりを進めます。
- ・福祉に関心のある人を地域に増やすための講座や研修会を実施します。
- ・減災行動（家具転倒防止金具取付ボランティア講座等の開催）をキーワードに、身近な地域の中でのつながり作りを進めます。
- ・地域福祉で住民に一番身近な存在の地域ケアプラザと連携し、小地域支援を強化します。

②【エリア別社会資源の確認】（新規）

助成金の活用などにより、サロンや食事会といった見守り活動を展開する団体の事業範囲を掴み、エリアから外れている地域などに活動展開が可能か検証します。

- ・地域活動のキーパーソンの協力を得て、社会資源の情報を整理します。
- ・近隣住民の集まりを「講演」や「演奏会・会食」といった楽しみから始めるため、運営体制を当初、地域活動者の中で行えるかどうか懇談の機会を持ちます。

（３）地域ケアプラザとの連携・支援（重点）

①【地域ケアプラザとの連携・支援】Ⅲ

地域福祉で住民に一番身近な存在の地域ケアプラザと連携し、小地域支援を強化します。地域ケアプラザ、本会が持つ地域情報の共有化、福祉教育、権利擁護事業の啓発、障害児余暇支援を相互協力しながら地域展開をはかります。

②【中区コーディネーター会議の開催】Ⅲ

地域福祉保健活動の活性化やボランティアの育成及びコーディネートの推進、並びにそれらを担う職員のスキルアップを目的に、区内各地域ケアプラザ、区役所等行政機関及び本会事務局の地域活動コーディネーター等関係職員による情報交換や共同研究を行う連絡会を開催します。

また、地域活動や行事について特に推進役としての地区社協支援を前提に、本会とケアプラザの支援方針について申し合わせ、連携する関係を強めていきます。

③【各関連会議への参加】 Ⅲ

地域ケアプラザとの連携を図ることを目的に、具体的な小地域支援についての情報交換や研究協議のため、関連の会議に参加します。

- ・実施内容：中区施設長会議、社会福祉職会議、地域包括支援センター連絡会、エリア会議、地域支えあいネットワーク会議、地域ケア会議

(4) 地域福祉保健活動への支援事業

〔サービス区分・予算額：地区社協活動支援事業、共同募金配分事業、善意銀行運営、中区社協助成金配分事業・9,466千円〕

①【中区社会福祉協議会配分金助成事業 なかくふれあい助成金】 Ⅶ

限られた財源の中でも「今ある活動」の維持を図るため、申請条件等を見直し、引き続き助成金を交付することで地域福祉保健活動の推進を図ります。

助成した事業の内容については本会ホームページや広報紙への掲載などを通してご紹介し、ご寄付頂く住民の方々へ理解を図ります。

②【高齢者食事サービス団体連絡会】 Ⅶ

食事の提供を通して高齢者の見守り活動を行っている高齢者食事会やサロン活動実施団体に対し、食品衛生に関する知識習得のための研修・情報交換等を行います。

3. 福祉教育やボランティア活動の活性化

(1) 福祉教育の推進

〔サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業・170千円〕

①【福祉教育の相談調整・支援】 Ⅳ・Ⅴ

学校や企業での福祉教育の企画及び実施について相談受付、講師の調整・紹介・派遣及び、教材・機材の貸し出し等を行います。

②【福祉教育講座企画会】 Ⅳ・Ⅴ

講座をより有意義なものとするため、開催校と、地域講師（障害当事者、福祉ボランティア、地域ケアプラザ等の福祉施設、企業）が意見交換をする企画会を行います。

③【先生のための福祉講座】 Ⅳ・Ⅴ

市内18区社協と市社協、市教育委員会の共同事業として、学校の先生を対象とした福祉講座を開催し、福祉教育についての検討や情報交換を行います。

④【福祉教育体験講座】 Ⅳ・Ⅴ

区内在学・在住の小・中学生を対象に、障害当事者を講師に迎え、ポレポレグッズ（区内の障害者施設がつくった製品）等の製作体験や福祉について学ぶ教室を開催します。障害者地域作業所やボランティアと協働で実施し、児童への福祉啓発に取り組みます。

⑤【福祉教育用福祉用具の整備】 Ⅳ・Ⅴ

福祉用具・機材の保守整備を行うと共に、必要に応じて購入し、充実を図ります。

(2) 中区福祉保健活動拠点なかふく及び中区ボランティアセンターの運営

〔サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業、福祉保健活動拠点運営、善意銀行運営・14,245千円〕

中区福祉保健活動拠点なかふくの指定管理者として、地域における市民の自主的な福祉活動又は保健活動のための施設の提供や、福祉・保健活動の担い手であるボランティアの育成・支援を行います。

運営にあたっては運営基本方針を策定し、誰もが「安心して」「安全に」利用できるように施設管理に取り組むとともに、「中なかいいネ！中区地域福祉保健計画」に基づき、地域住民・関係団体・区・地域ケアプラザ等とともに、様々な世代の人やサポートが必要な人が地域社会の一員として活躍し、横につながり合うまちづくりを目指します。

福祉保健活動拠点は、市民の誰もが日常的に相互に支えあい、住み慣れたところで安心して自立した生活を続けられる地域社会の実現のために設置された施設で、各区1箇所ずつ設置されています。

①【中区福祉保健活動拠点なかふく管理運営】 **Ⅶ・V**

(ア) 各部屋の貸し出し

利用登録をした福祉保健活動団体に対し、活動の打ち合わせや地域向けの講演会の実施等、活動場所の提供を行います。

特に、平日の夜間や土・日・祝日の比較的利用率の低い時間帯について、他機関と連携しながらPRを強化するとともに、専門ボランティアが使用しない場合、打合せの場として利用率が低い点字製作室（定員4名）と対面朗読・編集室（定員8名）の活用を進め、部屋の利用率向上を目指します。

(イ) メールボックス、ロッカーの貸し出し

拠点登録団体の事務作業・情報交換などを円滑に推進するため、メールボックスおよびロッカーを貸し出します。

(ウ) 施設・設備の充実

拠点登録団体が使用できるパソコン、コピー機、印刷機やプロジェクター等を備品として揃え、より利用しやすい環境を整備します。

(エ) 親と子のくつろぎスペース「マリンコーナー」の設置

拠点の立地を生かし、子育て支援と拠点利用の活性化の一貫として、山下公園など拠点付近を散策している子育て中の親子が、仲間づくりや情報交換等を行いながら交流できるスペースを団体交流室内に設置します。

(オ) 福祉保健活動拠点「なかふくまつり（仮称）」の開催

昨年“拠点開館10周年”を機会に愛称を募集し、“なかふく”に決定しました。平成27年度は「なかふくまつり（仮称）」を開催し、区民に拠点の愛称の認知度を高めるとともに、多様な福祉保健団体の登録の増加と部屋の利用率の向上を目指し、併せて拠点活動団体のPRを行います。

②【中区ボランティアセンターの運営】 **V**・Ⅱ・Ⅵ

(ア) ボランティアに関する相談・紹介業務

専門の知識を持ったボランティアコーディネーターが、市民活動・ボランティア活動に関する様々な相談に来館・電話・Eメール等で対応します。相談の中から、新たな人材の発見や、地域の課題を見つけ解決に結び付けます。

(イ) ボランティアに関する情報の提供

中区ボランティア連絡会と協働でボランティア情報紙を発行し、ボランティア登録者への送付や区民利用施設での配架により、ボランティア募集や講座情報等を定期的に発信します。また、本会ホームページやソーシャルメディアを活用し、地域情報を始めボランティアに関する情報を提供するとともに、拠点内に情報コーナーを設置し拠点登録団体及び利用者に対し、福祉保健に関する情報提供を行います。

(ウ) ボランティア活動の支援

活動の継続や、他機関・団体との連携を支援し、情報交換や研修等の機会を提供します。また、ボランティア活動者等が安心して活動ができるよう、本会が窓口になっているボランティア活動保険・行事用保険の受付や、その他ボランティア保険を紹介します。

③【ボランティアの育成・支援】 **V・Ⅵ**・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅶ

(ア) 初めてボランティアをする人を対象とした入門・啓発事業

区内の福祉施設や地域団体と連携し、実際にボランティア活動を体験できる機会を提供します。

(イ) 新しい層のボランティアの発掘

これまでボランティアの参加が少なかった層が参加しやすいプログラムを提供し新しい層のボランティアの発掘をします。

(ウ) テーマ型ボランティア講座

拠点登録団体や地域団体と連携をし、個々の興味に沿って参加ができるテーマ別の入門講座を実施します。

(エ) ボランティア活動のための知識をさらに深め技術を向上させる講座

ボランティア活動者が、さらに技術を向上したり、課題のヒントを得たり、新たな発見することで、活動を深めるための学習の場を提供します。

(オ) 福祉教育の実施

子どもたちに対しては、学校と連携しながら、学校の現状に合わせた効果的な福祉教育の実践（車椅子体験、手話、区内の福祉施設体験等）に拠点登録団体と協働して取り組みます。また障害者理解・国際理解、自己の認識や普段気づかない視点等への気づくきっかけとして、福祉体験講座を拠点登録団体と協働して実施します。

さらに、地域や企業などの大人に対しても、これまでのノウハウを生かして福祉の学習の機会を積極的に提案、提供していきます。これにより、様々な年代に対し

て、中区への愛着や他者への思いやりの心を育み、意識向上を図ります。

(3) 災害ボランティアセンター設置に向けた取り組み

[サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業・110 千円]

①【災害ボランティアコーディネーター連絡会の運営】 V

災害発生時の中区災害ボランティアセンターの設置、及び平常時の災害ボランティアの登録、情報提供、研究、交流等への支援・運営をボランティア連絡会と協働して担います。

②【災害ボランティア養成講座の開催】 V・VI

災害ボランティアコーディネーター連絡会と協働し災害ボランティア活動及び減災への啓発を目的として、講座を開催します。

③【災害ボランティアセンター設置に備えて】 IV

中区の被災を想定し、災害ボランティアコーディネーター連絡会と協働で訓練や勉強会を実施します。また、地域防災拠点、特別避難場所および災害ボランティアセンターとの連携について考えるための研修会を、拠点運営委員会の協力を得ながら開催していきます。

(4) 善意銀行・ボランティアセンター運営委員会の運営

[サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業・30 千円]

①【善意銀行の運営】 VII

区民の皆様からいただいた善意の金品をお預かりし、助成金として、区内で展開される社会福祉事業へ配分します。また、企業などへの PR を強化します。

②【ボランティアセンター運営委員会の開催】(年3回) III

善意銀行の運営、事業計画実施内容の検討、経過報告等を行い、中区ボランティアセンターの適正な運営を図ります。

(5) 外出・社会参加の支援

[サービス区分・予算額：共同募金配分事業、送迎サービス事業・6,614 千円]

①【中区送迎サービス・横浜市外出支援サービス】 V

送迎ボランティアグループ「葦の会」との協働で、区内在宅高齢者・障害児者等の公共の交通機関での移動が困難な方の通院や行政機関での手続き・余暇活動への参加等のための自動車による送迎サービスを実施します。担い手の研鑽・育成も行います。また、車両の老朽化に伴い、1 台を更新します。

②【中区送迎サービスボランティア講座の開催】(年2回)

利用者への対応や緊急時の対応等、送迎ボランティアの方々が安全、安心して活動が出来るよう、送迎ボランティア講座を開催します。

4. 福祉の情報提供と相談

(1) 情報提供

①【区民への情報提供】（再掲） **Ⅶ**・Ⅵ

広報紙やホームページを通じて、区民への福祉啓発・情報提供を行うと共に、ソーシャルメディアなどを活用しリアルタイムでの情報提供を行います。

さらに、タウン紙・広報よこはま中区版の他、ハローよこはま等各種イベントも活用し、幅広い媒体を活用して情報提供に努めます。

- ・広報紙「社協瓦版 ふくしなか」 年4回発行
- ・ホームページ・ソーシャルメディアなどでの情報提供（通年）
- ・タウン紙・広報よこはま中区版・各種イベントへの情報提供（通年）

(2) 相談

①【一般相談】

本会の業務全般を通して随時相談に応じ、解決手段や適切な情報提供をします。寄せられた課題を共有化し、解決の方向性について検討します。

②【苦情解決】

本会の事業やサービスに関するご要望や苦情を受け付け、適切な対応をするとともにサービスの向上を図ります。

③【窓口満足度調査】

本会の窓口等を利用される方に調査を行い、調査結果をもとに本会のサービス改善・向上を図ります。

④【ご意見箱の設置】

本会窓口にご意見箱を設置し、通年の区民ニーズの把握に努めます。また、市社会福祉協議会ホームページでも電子ご意見箱を設置しサービス改善に努めます。

(3) 生活福祉資金貸付事業

〔サービス区分・予算額：法人運営・3,440千円〕

①【生活福祉資金貸付】

低所得者世帯や高齢者世帯、障害者世帯を対象に、生活の向上や自立支援を目的とした貸付事業を民生委員の協力のもと窓口対応します。

②【総合支援資金貸付】

失業等により日常生活全般に困難を抱えている方を対象として、生活の立て直しや経済的自立等を図ることを目的に貸付をします。

③【臨時特例つなぎ資金】

離職者を支援する公的給付制度（失業等給付、住宅手当等）又は公的貸付制度（求職者支援制度等）を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金等の交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けます。

④【中区生活困窮者自立相談支援事業への協力】

27年度から実施される「自立相談支援事業」を前提に、生活課題の把握と就労を支援する貸付制度の窓口として、支援関連機関への連携・橋渡しをより意識しながら相談対応していきます。また引き続き支援調整会議の場に於いて、情報交換と具体的なケース支援の在り方を検討していきます。

(4) 小災害見舞金・交通遺児援護事業

[サービス区分・予算額：共同募金配分事業、福祉活動推進事業・700千円]

①【小災害見舞金の支給】

火災、風水害等の災害により住家に被害を受けた罹災世帯に見舞金を支給します。

②【交通遺児見舞金・激励金の支給】

交通遺児世帯を対象に見舞金・激励金を支給します。

5. 当事者の組織化、社会参加促進のための事業

(1) 高齢者福祉

[サービス区分・予算額：共同募金配分事業・138千円]

①【高齢者福祉関係】 Ⅲ

在宅介護と医療機関の連携を図るための各種会議に出席します。

②【敬老月間各種事業への取り組み】

中区老人福祉大会の共催や中区老人クラブ連合会事業への支援、9月の敬老月間長寿者訪問・老人ホーム訪問等を行います。

(2) 障害者福祉

[サービス区分・予算額：共同募金配分事業・498千円]

①【中区障害者団体連絡会（区障連）への支援・協力】 Ⅲ・Ⅳ

(ア) 地域防災訓練への参加

防災の日に地域で行われる防災訓練への中区障害者団体連絡会会員の参加について支援します。

(イ) ポレポレまつり

障害者と地域住民との交流の場となるポレポレまつりの実行委員として参画し、地域活動及び本会の活動紹介をし、併せて助成金を交付します。

(ウ) ポレポレグッズの販路拡大支援

販路拡大委員会に参加し、区内の障害者施設がつくった製品であるポレポレグッズの販路拡大を支援します。

(エ) 各種会議への参加

総会・理事会・四役会・事務局会議・研修会・防災検討会や各種委員会等へ参加し、活動を支援します。

②【障害児者余暇活動の実施・支援】 Ⅳ・Ⅲ・Ⅴ

(ア) 障害児者余暇支援事業の実地

関係機関・団体と連携し、障害児者余暇支援事業を実施します。

(イ) 学齢障害児余暇支援事業実施団体連絡会議

区内で学齢障害児余暇支援事業を実施する当事者関係団体、NPO、訓練会、特別支援学校、地域ケアプラザ、福祉施設等が集まり、実施時期、内容について情報交換を行うための連絡会を開催します。

③【障害者理解のための啓発活動の実施】 Ⅰ・Ⅳ

中区障害者団体連絡会と協働し、多種多様な障害と、障害にまつわる誤解を解消していくための啓発活動を実施していきます。

④【中区障害者自立支援協議会への参画】

中区における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関と連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について、運営事務局の一端として協議をしていきます。

⑤【各種委員会・運営委員会への参加】

障害者の地域での生活支援を目指し、関係施設を運営する法人および施設の各種会議へ参加・情報の共有化・連携を図ります。

(3) 子育て支援事業

[サービス区分・予算額：ボランティアセンター事業・50 千円]

①【親と子のくつろぎスペース「マリンコーナー」の設置】 (再掲) Ⅱ・Ⅲ

拠点の立地を生かし、子育て支援と拠点利用の活性化の一環として、山下公園など拠点付近を散策している子育て中の親子が、仲間づくりや情報交換等を行いながら交流できるスペースを設置します。

②【「なかくっこ」子育て応援プログラムの開催】 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ

中区地域子育て支援拠点「のんびりんこ」や主任児童委員連絡会など区内で活動する団体等と協働し、子育てに役立つ講座の開催や、親子の広場等の交流の場の開催を支援します。

③【親子いっしょにボランティア入門講座の開催】 (再掲) Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ

子育て中の親子を対象に、乳幼児連れで参加できるボランティアプログラムを開催します。

(4) 中区社協あんしんセンターの運営

[サービス区分・予算額：権利擁護事業・642 千円]

日常的な金銭や財産関係書類の管理に不安がある高齢者や障害のある方を対象に、生活や金銭管理などの相談に応じ、契約に基づきサービスの提供を行います。また、地域包括支援センター等と連携しながら、対象者の増加や多様化に対応し、権利擁護

や成年後見制度等、制度の周知や円滑な利用促進を目的に、研修会等を実施します。

また、横浜生活あんしんセンター（市社協）と連携し、実務実習受入れ等、市民後見人の養成に取り組みます。

（５）中区自立生活等支援事業

〔サービス区分・予算額：自立生活等支援事業・8,650千円〕

日々の金銭管理等に課題を抱える生活保護受給者が、自分自身で金銭管理を行う力を身につけ、将来にわたり自立した生活を送れるよう相談、支援を行い、契約に基づきサービスの提供を行います。

（６）移動情報センター事業

〔サービス区分・予算額：移動情報センター事業・7,884千円〕

①【相談窓口の運営】

区内在住の障害児者を主な対象として、通学、通所、その他移動に関する相談に応じ、移動の制度についての情報提供や移動支援に関する事業所との適切なコーディネートを行います。

②【ニーズの収集と整理】

移動に関する情報収集のため、障害当事者団体、教育機関、事業所等へのヒアリングを行います。発掘されたニーズについて対応を検討します。

③【移動支援に関わる人材育成】

地域や関連機関と協力し、ニーズに対応するための移動支援に関わるボランティア養成講座や体験プログラムを実施します。また、ガイドボランティア事務取扱団体への登録準備を進めます。

④【広報啓発活動】

奇数月に「中区移動情報センター通信」を発行。特別支援学校、区内小中学校、区役所、事業所、地域ケアプラザ、区障連会員施設（作業所、グループホーム等）、医療機関等へ配付します。

⑤【推進会議の開催】（年４回）

障害当事者団体、教育機関、事業所等で構成する推進会議を開催し、事業の現況等に関する意見交換を行い、事業の推進を図ります。

6. 法人運営

（１）本会の体制強化

①【理事会・評議員会の開催】

本会が行う各種事業の実施体制を強化することを目的として、理事会・評議員会を開催します。

②【各種部会・分科会・委員会の開催】

本会が行う各種事業の実施体制を強化することを目的として、部会、分科会、委員会を開催します。

③【職員研修の開催】

地域福祉の推進を担う本会職員の資質向上を目指し、研修を開催します。

④【BCP（業務継続計画）の推進】

26年度策定した計画の「今後の対応目標」に基づき、有事に於ける社会福祉協議会の業務継続のための基盤整備を段階的に進めていきます。

（２）その他

①【6団体事務の運営】

下記の福祉関係6団体の事務局を担います。

- ・ 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部中区地区委員会
- ・ 中区安全安心推進協会
- ・ 神奈川県共同募金会中区支会
- ・ 中保護司会
- ・ 中区更生保護女性会
- ・ 中区遺族会

平成 2 7 年度
社会福祉法人横浜市中区社会福祉協議会
一般会計収支予算書

- 1 資金収支当初予算書（法人全体）18 ページ
- 2 資金収支当初予算書（拠点区分別）19 ページ
- 3 資金収支予算内訳書（拠点区分別）22 ページ

法人全体 資金収支当初予算書

平成27年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

1 / 1

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
会費収入	0	3,300,000	3,300,000	
寄附金収入	0	3,700,000	3,700,000	
経常経費補助金収入	0	13,836,000	13,836,000	
受託金収入	0	37,300,000	37,300,000	
事業収入	0	2,103,000	2,103,000	
負担金収入	0	1,462,000	1,462,000	
受取利息配当金収入	0	136,000	136,000	
その他の収入	0	1,690,000	1,690,000	
事業活動収入計(1)	0	63,527,000	63,527,000	
< 支出 >				
人件費支出	0	29,598,000	29,598,000	
事業費支出	0	18,880,000	18,880,000	
事務費支出	0	3,688,000	3,688,000	
分担金支出	0	1,559,000	1,559,000	
助成金支出	0	62,625,000	62,625,000	
負担金支出	0	50,000	50,000	
事業活動支出計(2)	0	116,400,000	116,400,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	52,873,000	52,873,000	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等補助金収入	0	1,780,000	1,780,000	
施設整備等収入計(4)	0	1,780,000	1,780,000	
< 支出 >				
固定資産取得支出	0	2,630,000	2,630,000	
施設整備等支出計(5)	0	2,630,000	2,630,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	850,000	850,000	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
< 支出 >				
その他の活動による支出	0	20,000	20,000	
その他の活動支出計(8)	0	20,000	20,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	20,000	20,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	53,743,000	53,743,000	
前期末支払資金残高(12)	0	66,248,000	66,248,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	12,505,000	12,505,000	

拠点区分別 資金収支当初予算書

平成27年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

事業：社会福祉事業

拠点：法人運営及び区社協実施事業

1 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
会費収入	0	3,300,000	3,300,000	
正会費収入	0	3,000,000	3,000,000	
賛助会費収入	0	300,000	300,000	
寄附金収入	0	3,700,000	3,700,000	
寄附金収入	0	3,700,000	3,700,000	
経常経費補助金収入	0	13,836,000	13,836,000	
市社協補助金収入	0	6,536,000	6,536,000	
共同募金配分金収入	0	7,300,000	7,300,000	
一般募金配分金収入	0	4,100,000	4,100,000	
年末たすけあい配分金収入	0	2,000,000	2,000,000	
たすけあい福祉資金配分金収入	0	1,200,000	1,200,000	
受託金収入	0	37,300,000	37,300,000	
市区町村受託金収入	0	30,788,000	30,788,000	
横浜市受託金収入	0	21,888,000	21,888,000	
区受託金収入	0	8,900,000	8,900,000	
都道府県社協受託金収入	0	3,440,000	3,440,000	
神奈川県社協受託金収入	0	3,440,000	3,440,000	
市社協受託金収入	0	3,072,000	3,072,000	
事業収入	0	2,103,000	2,103,000	
参加費収入	0	555,000	555,000	
利用料収入	0	1,458,000	1,458,000	
手数料収入	0	90,000	90,000	
負担金収入	0	1,462,000	1,462,000	
負担金収入	0	1,462,000	1,462,000	
利用料等負担金収入	0	300,000	300,000	
負担金収入	0	1,162,000	1,162,000	
受取利息配当金収入	0	136,000	136,000	
その他の収入	0	1,690,000	1,690,000	
雑収入	0	1,690,000	1,690,000	
事業活動収入計(1)	0	63,527,000	63,527,000	
< 支出 >				
人件費支出	0	29,598,000	29,598,000	
役員報酬支出	0	156,000	156,000	
職員給料支出	0	13,672,000	13,672,000	
職員俸給	0	8,052,000	8,052,000	
職員諸手当	0	5,100,000	5,100,000	
通勤手当	0	520,000	520,000	
非常勤職員給与支出	0	13,445,000	13,445,000	
法定福利費支出	0	2,325,000	2,325,000	
事業費支出	0	18,880,000	18,880,000	
教養娯楽費支出	0	33,000	33,000	
水道光熱費支出	0	800,000	800,000	
消耗器具備品費支出	0	1,506,000	1,506,000	
消耗品費支出	0	1,297,000	1,297,000	
器具什器費支出	0	209,000	209,000	

拠点区分別 資金収支当初予算書

平成27年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

事業：社会福祉事業

拠点：法人運営及び区社協実施事業

2 / 3

(単位：円)

勘定科目		前年度予算額	当初予算額	増減	備考
	保険料支出	0	283,000	283,000	
	賃借料支出	0	1,420,000	1,420,000	
	車輛費支出	0	688,000	688,000	
	諸謝金費支出	0	1,180,000	1,180,000	
	旅費交通費支出	0	619,000	619,000	
	役職員旅費	0	619,000	619,000	
	印刷製本費支出	0	609,000	609,000	
	修繕費支出	0	215,000	215,000	
	通信運搬費支出	0	1,611,000	1,611,000	
	会議費支出	0	24,000	24,000	
	広報費支出	0	456,000	456,000	
	業務委託費支出	0	2,189,000	2,189,000	
	手数料支出	0	148,000	148,000	
	租税公課支出	0	1,608,000	1,608,000	
	援護費・見舞金費支出	0	3,100,000	3,100,000	
	交通遺児援護費支出	0	300,000	300,000	
	雑支出	0	2,091,000	2,091,000	
	雑支出	0	2,091,000	2,091,000	
	事務費支出	0	3,688,000	3,688,000	
	福利厚生費支出(事務費)	0	89,000	89,000	
	旅費交通費支出(事務費)	0	180,000	180,000	
	研修研究費支出(事務費)	0	73,000	73,000	
	事務消耗品費支出(事務費)	0	350,000	350,000	
	事務費消耗品費支出(事務費)	0	100,000	100,000	
	器具什器費支出(事務費)	0	250,000	250,000	
	印刷製本費支出(事務費)	0	300,000	300,000	
	水道光熱費支出(事務費)	0	540,000	540,000	
	修繕費支出(事務費)	0	10,000	10,000	
	通信運搬費支出(事務費)	0	762,000	762,000	
	会議費支出(事務費)	0	15,000	15,000	
	業務委託費支出(事務費)	0	30,000	30,000	
	手数料支出(事務費)	0	195,000	195,000	
	保険料支出(事務費)	0	107,000	107,000	
	賃借料支出(事務費)	0	254,000	254,000	
	租税公課支出(事務費)	0	20,000	20,000	
	保守料支出(事務費)	0	330,000	330,000	
	渉外費支出(事務費)	0	138,000	138,000	
	諸会費支出(事務費)	0	260,000	260,000	
	雑支出(事務費)	0	35,000	35,000	
	分担金支出	0	1,559,000	1,559,000	
	分担金支出	0	1,559,000	1,559,000	
	助成金支出	0	62,625,000	62,625,000	
	助成金支出	0	62,625,000	62,625,000	
	負担金支出	0	50,000	50,000	
	負担金支出	0	50,000	50,000	
	事業活動支出計(2)	0	116,400,000	116,400,000	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	52,873,000	52,873,000	

拠点区分別 資金収支当初予算書

平成27年4月

法人：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会

事業：社会福祉事業

拠点：法人運営及び区社協実施事業

3 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等補助金収入	0	1,780,000	1,780,000	
施設整備等補助金収入	0	1,780,000	1,780,000	
施設整備等収入計(4)	0	1,780,000	1,780,000	
< 支出 >				
固定資産取得支出	0	2,630,000	2,630,000	
車両運搬具取得支出	0	2,630,000	2,630,000	
施設整備等支出計(5)	0	2,630,000	2,630,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	850,000	850,000	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
< 支出 >				
その他の活動による支出	0	20,000	20,000	
リサイクル料預け金支出	0	20,000	20,000	
その他の活動支出計(8)	0	20,000	20,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	20,000	20,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	53,743,000	53,743,000	
前期末支払資金残高(12)	0	66,248,000	66,248,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	12,505,000	12,505,000	

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

(単位：円)

勘定科目		法人運営	ボランティアセンター事業	地区社協活動支援事業	福祉保健活動拠点運営	共同募金配分事業	善意銀行運営	送迎サービス事業	自立生活等支援事業
< 事業活動による収支 >									
< 収入 >									
会費収入		3,300,000	0	0	0	0	0	0	0
正会費収入		3,000,000	0	0	0	0	0	0	0
賛助会費収入		300,000	0	0	0	0	0	0	0
寄附金収入		0	0	0	0	0	3,100,000	0	0
寄附金収入		0	0	0	0	0	3,100,000	0	0
経常経費補助金収入		710,000	260,000	1,030,000	0	7,300,000	0	0	0
市社協補助金収入		710,000	260,000	1,030,000	0	0	0	0	0
共同募金配分金収入		0	0	0	0	7,300,000	0	0	0
一般募金配分金収入		0	0	0	0	4,100,000	0	0	0
年末たすけあい配分金収入		0	0	0	0	2,000,000	0	0	0
たすけあい福祉資金配分金収入		0	0	0	0	1,200,000	0	0	0
受託金収入		3,840,000	0	0	13,915,000	0	0	3,072,000	8,500,000
市区町村受託金収入		400,000	0	0	13,915,000	0	0	0	8,500,000
横浜市受託金収入		0	0	0	13,915,000	0	0	0	0
区受託金収入		400,000	0	0	0	0	0	0	8,500,000
都道府県社協受託金収入		3,440,000	0	0	0	0	0	0	0
神奈川県社協受託金収入		3,440,000	0	0	0	0	0	0	0
市社協受託金収入		0	0	0	0	0	0	3,072,000	0
事業収入		0	90,000	0	30,000	0	0	1,236,000	0
参加費収入		0	0	0	30,000	0	0	0	0
利用料収入		0	0	0	0	0	0	1,236,000	0
手数料収入		0	90,000	0	0	0	0	0	0
負担金収入		522,000	0	640,000	300,000	0	0	0	0
負担金収入		522,000	0	640,000	300,000	0	0	0	0
利用料等負担金収入		0	0	0	300,000	0	0	0	0
負担金収入		522,000	0	640,000	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入		22,000	0	0	0	2,000	1,000	0	0
その他の収入		10,000	0	0	0	0	0	0	0
雑収入		10,000	0	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計(1)		8,404,000	350,000	1,670,000	14,245,000	7,302,000	3,101,000	4,308,000	8,500,000

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

(単位：円)

勘 定 科 目		法人運営	ボランティアセ ンター事業	地区社協活動支 援事業	福祉保健活動拠 点運営	共同募金配分事 業	善意銀行運営	送迎サービスマ ニヤ	自立生活等支援 事業
< 支出 >									
人件費支出		3,636,000	0	0	9,220,000	600,000	0	1,746,000	7,546,000
役員報酬支出		156,000	0	0	0	0	0	0	0
職員給料支出		0	0	0	4,692,000	0	0	0	4,830,000
職員俸給		0	0	0	2,852,000	0	0	0	2,750,000
職員諸手当		0	0	0	1,840,000	0	0	0	1,560,000
通勤手当		0	0	0	0	0	0	0	520,000
非常勤職員給与支出		3,295,000	0	0	3,864,000	580,000	0	1,726,000	1,940,000
法定福利費支出		185,000	0	0	664,000	20,000	0	20,000	776,000
事業費支出		1,418,000	360,000	240,000	4,742,000	4,525,000	0	2,218,000	813,000
教養娯楽費支出		0	0	0	0	33,000	0	0	0
水道光熱費支出		0	0	0	800,000	0	0	0	0
消耗器具備品費支出		199,000	185,000	88,000	270,000	410,000	0	43,000	100,000
消耗品費支出		130,000	185,000	88,000	230,000	410,000	0	43,000	100,000
器具什器費支出		69,000	0	0	40,000	0	0	0	0
保険料支出		0	6,000	0	39,000	40,000	0	30,000	160,000
賃借料支出		0	0	0	588,000	350,000	0	454,000	0
車輛費支出		0	0	0	0	0	0	688,000	0
諸謝金費支出		364,000	35,000	81,000	110,000	140,000	0	430,000	0
旅費交通費支出		55,000	0	0	5,000	250,000	0	21,000	24,000
役員旅費		55,000	0	0	5,000	250,000	0	21,000	24,000
印刷製本費支出		150,000	10,000	10,000	0	308,000	0	0	0
修繕費支出		0	5,000	0	150,000	50,000	0	0	10,000
通信運搬費支出		128,000	98,000	41,000	764,000	110,000	0	136,000	45,000
広報費支出		118,000	16,000	0	108,000	174,000	0	30,000	0
業務委託費支出		389,000	0	0	1,288,000	200,000	0	96,000	130,000
手数料支出		6,000	0	0	20,000	40,000	0	22,000	4,000
租税公課支出		4,000	0	20,000	600,000	0	0	263,000	340,000
援護費・見舞金費支出		0	0	0	0	2,270,000	0	0	0
雑支出		5,000	5,000	0	0	150,000	0	5,000	0
雑支出		5,000	5,000	0	0	150,000	0	5,000	0
事務費支出		3,238,000	0	0	33,000	338,000	0	0	41,000

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

(単位：円)

勘定科目	法人運営	ボランティアセンター事業	地区社協活動支援事業	福祉保健活動拠点運営	共同募金配分事業	善意銀行運営	送迎サービス事業	自立生活等支援事業
福利厚生費支出（事務費）	0	0	0	33,000	0	0	0	36,000
旅費交通費支出（事務費）	180,000	0	0	0	0	0	0	0
研修研究費支出（事務費）	30,000	0	0	0	20,000	0	0	5,000
事務消耗品費支出（事務費）	150,000	0	0	0	200,000	0	0	0
事務費消耗品費支出（事務費）	50,000	0	0	0	50,000	0	0	0
器具什器費支出（事務費）	100,000	0	0	0	150,000	0	0	0
印刷製本費支出（事務費）	300,000	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費支出（事務費）	540,000	0	0	0	0	0	0	0
修繕費支出（事務費）	10,000	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費支出（事務費）	762,000	0	0	0	0	0	0	0
会議費支出（事務費）	15,000	0	0	0	0	0	0	0
業務委託費支出（事務費）	30,000	0	0	0	0	0	0	0
手数料支出（事務費）	190,000	0	0	0	5,000	0	0	0
保険料支出（事務費）	107,000	0	0	0	0	0	0	0
賃借料支出（事務費）	234,000	0	0	0	20,000	0	0	0
租税公課支出（事務費）	20,000	0	0	0	0	0	0	0
保守料支出（事務費）	330,000	0	0	0	0	0	0	0
渉外費支出（事務費）	50,000	0	0	0	88,000	0	0	0
諸会費支出（事務費）	260,000	0	0	0	0	0	0	0
雑支出（事務費）	30,000	0	0	0	5,000	0	0	0
分担金支出	709,000	0	0	250,000	100,000	0	0	250,000
分担金支出	709,000	0	0	250,000	100,000	0	0	250,000
助成金支出	0	0	2,000,000	0	3,100,000	53,329,000	0	0
助成金支出	0	0	2,000,000	0	3,100,000	53,329,000	0	0
負担金支出	0	0	0	0	50,000	0	0	0
負担金支出	0	0	0	0	50,000	0	0	0
事業活動支出計(2)	9,001,000	360,000	2,240,000	14,245,000	8,713,000	53,329,000	3,964,000	8,650,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△597,000	△10,000	△570,000	0	△1,411,000	△50,228,000	344,000	△150,000
< 施設整備等による収支 >								
< 収入 >								
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	1,780,000	0	0	0
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	1,780,000	0	0	0

法人名：社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業：社会福祉事業
拠点：法人運営及び区社協実施事業

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

(単位：円)

勘定科目	法人運営	ボランティアセンター事業	地区社協活動支援事業	福祉保健活動拠点運営	共同募金配分事業	善意銀行運営	送迎サービス事業	自立生活等支援事業
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	1,780,000	0	0	0
＜支出＞								
固定資産取得支出	0	0	0	0	2,630,000	0	0	0
車両運搬具取得支出	0	0	0	0	2,630,000	0	0	0
施設整備等支出計(5)	0	0	0	0	2,630,000	0	0	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	0	△850,000	0	0	0
＜その他の活動による収支＞								
＜収入＞								
サービス区分間繰入金収入	324,000	10,000	570,000	0	850,000	0	50,000	0
その他の活動収入計(7)	324,000	10,000	570,000	0	850,000	0	50,000	0
＜支出＞								
サービス区分間繰入金支出	904,000	0	0	0	0	0	900,000	0
その他の活動による支出	0	0	0	0	20,000	0	0	0
リサイクル料預け金支出	0	0	0	0	20,000	0	0	0
その他の活動支出計(8)	904,000	0	0	0	20,000	0	900,000	0
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△580,000	10,000	570,000	0	830,000	0	△850,000	0
予備費支出(10)	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△1,177,000	0	0	0	△1,431,000	△50,228,000	△506,000	△150,000
前期末支払資金残高(12)	7,000,000	0	0	0	5,000,000	52,464,000	1,273,000	150,000
当期末支払資金残高(11)+(12)	5,823,000	0	0	0	3,569,000	2,236,000	767,000	0

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

(単位：円)

勘 定 科 目		権利擁護事業	移動情報センタ 一事業	福祉活動推進事 業	中区社協助成金 配分事業	福祉基金	合計	内部取引消去	拠点合計
< 事業活動による収支 >									
< 収入 >									
会費収入		0	0	0	0	0	3,300,000	0	3,300,000
正会費収入		0	0	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000
賛助会費収入		0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
寄附金収入		0	0	600,000	0	0	3,700,000	0	3,700,000
寄附金収入		0	0	600,000	0	0	3,700,000	0	3,700,000
経常経費補助金収入		0	0	300,000	4,236,000	0	13,836,000	0	13,836,000
市社協補助金収入		0	0	300,000	4,236,000	0	6,536,000	0	6,536,000
共同募金配分金収入		0	0	0	0	0	7,300,000	0	7,300,000
一般募金配分金収入		0	0	0	0	0	4,100,000	0	4,100,000
年末たすけあい配分金収入		0	0	0	0	0	2,000,000	0	2,000,000
たすけあい福祉資金配分金収入		0	0	0	0	0	1,200,000	0	1,200,000
受託金収入		420,000	7,553,000	0	0	0	37,300,000	0	37,300,000
市区町村受託金収入		420,000	7,553,000	0	0	0	30,788,000	0	30,788,000
横浜市受託金収入		420,000	7,553,000	0	0	0	21,888,000	0	21,888,000
区受託金収入		0	0	0	0	0	8,900,000	0	8,900,000
都道府県社協受託金収入		0	0	0	0	0	3,440,000	0	3,440,000
神奈川県社協受託金収入		0	0	0	0	0	3,440,000	0	3,440,000
市社協受託金収入		0	0	0	0	0	3,072,000	0	3,072,000
事業収入		222,000	0	525,000	0	0	2,103,000	0	2,103,000
参加費収入		0	0	525,000	0	0	555,000	0	555,000
利用料収入		222,000	0	0	0	0	1,458,000	0	1,458,000
手数料収入		0	0	0	0	0	90,000	0	90,000
負担金収入		0	0	0	0	0	1,462,000	0	1,462,000
負担金収入		0	0	0	0	0	1,462,000	0	1,462,000
利用料等負担金収入		0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
負担金収入		0	0	0	0	0	1,162,000	0	1,162,000
受取利息配当金収入		0	0	1,000	0	110,000	136,000	0	136,000
その他の収入		0	0	1,680,000	0	0	1,690,000	0	1,690,000
雑収入		0	0	1,680,000	0	0	1,690,000	0	1,690,000
事業活動収入計(1)		642,000	7,553,000	3,106,000	4,236,000	110,000	63,527,000	0	63,527,000

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

(単位：円)

勘定科目	権利擁護事業	移動情報センタ 一事業	福祉活動推進事 業	中区社協助成金 配分事業	福祉基金	合計	内部取引消去	拠点合計
< 支出 >								
人件費支出	0	6,850,000	0	0	0	29,598,000	0	29,598,000
役員報酬支出	0	0	0	0	0	156,000	0	156,000
職員給料支出	0	4,150,000	0	0	0	13,672,000	0	13,672,000
職員俸給	0	2,450,000	0	0	0	8,052,000	0	8,052,000
職員諸手当	0	1,700,000	0	0	0	5,100,000	0	5,100,000
通勤手当	0	0	0	0	0	520,000	0	520,000
非常勤職員給与支出	0	2,040,000	0	0	0	13,445,000	0	13,445,000
法定福利費支出	0	660,000	0	0	0	2,325,000	0	2,325,000
事業費支出	624,000	764,000	3,136,000	40,000	0	18,880,000	0	18,880,000
教養娯楽費支出	0	0	0	0	0	33,000	0	33,000
水道光熱費支出	0	0	0	0	0	800,000	0	800,000
消耗器具備品費支出	158,000	48,000	0	5,000	0	1,506,000	0	1,506,000
消耗品費支出	58,000	48,000	0	5,000	0	1,297,000	0	1,297,000
器具什器費支出	100,000	0	0	0	0	209,000	0	209,000
保険料支出	0	8,000	0	0	0	283,000	0	283,000
賃借料支出	28,000	0	0	0	0	1,420,000	0	1,420,000
車輛費支出	0	0	0	0	0	688,000	0	688,000
諸謝金費支出	0	20,000	0	0	0	1,180,000	0	1,180,000
旅費交通費支出	240,000	24,000	0	0	0	619,000	0	619,000
役職員旅費	240,000	24,000	0	0	0	619,000	0	619,000
印刷製本費支出	11,000	120,000	0	0	0	609,000	0	609,000
修繕費支出	0	0	0	0	0	215,000	0	215,000
通信運搬費支出	114,000	160,000	0	15,000	0	1,611,000	0	1,611,000
会議費支出	0	24,000	0	0	0	24,000	0	24,000
広報費支出	0	10,000	0	0	0	456,000	0	456,000
業務委託費支出	36,000	50,000	0	0	0	2,189,000	0	2,189,000
手数料支出	36,000	0	0	20,000	0	148,000	0	148,000
租税公課支出	1,000	300,000	80,000	0	0	1,608,000	0	1,608,000
援護費・見舞金費支出	0	0	830,000	0	0	3,100,000	0	3,100,000
交通遣児援護費支出	0	0	300,000	0	0	300,000	0	300,000
雑支出	0	0	1,926,000	0	0	2,091,000	0	2,091,000

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

(単位：円)

勘定科目	権利擁護事業	移動情報センタ 一事業	福祉活動推進事 業	中区社協助成金 配分事業	福祉基金	合計	内部取引消去	拠点合計
雑支出	0	0	1,926,000	0	0	2,091,000	0	2,091,000
事務費支出	18,000	20,000	0	0	0	3,688,000	0	3,688,000
福利厚生費支出 (事務費)	0	20,000	0	0	0	89,000	0	89,000
旅費交通費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	180,000	0	180,000
研修研究費支出 (事務費)	18,000	0	0	0	0	73,000	0	73,000
事務消耗品費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	350,000	0	350,000
事務費消耗品費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
器具什器費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	250,000	0	250,000
印刷製本費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
水道光熱費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	540,000	0	540,000
修繕費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
通信運搬費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	762,000	0	762,000
会議費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
業務委託費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000
手数料支出 (事務費)	0	0	0	0	0	195,000	0	195,000
保険料支出 (事務費)	0	0	0	0	0	107,000	0	107,000
賃借料支出 (事務費)	0	0	0	0	0	254,000	0	254,000
租税公課支出 (事務費)	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
保守料支出 (事務費)	0	0	0	0	0	330,000	0	330,000
渉外費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	138,000	0	138,000
諸会費支出 (事務費)	0	0	0	0	0	260,000	0	260,000
雑支出 (事務費)	0	0	0	0	0	35,000	0	35,000
分担金支出	0	250,000	0	0	0	1,559,000	0	1,559,000
分担金支出	0	250,000	0	0	0	1,559,000	0	1,559,000
助成金支出	0	0	0	4,196,000	0	62,625,000	0	62,625,000
助成金支出	0	0	0	4,196,000	0	62,625,000	0	62,625,000
負担金支出	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
負担金支出	0	0	0	0	0	50,000	0	50,000
事業活動支出計(2)	642,000	7,884,000	3,136,000	4,236,000	0	116,400,000	0	116,400,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	△331,000	△30,000	0	110,000	△52,873,000	0	△52,873,000
< 施設整備等による収支 >								
< 収入 >								

拠点区分別 資金収支予算内訳書

平成27年度

法人名： 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会
事業： 社会福祉事業
拠点： 法人運営及び区社協実施事業

8 / 8

(単位：円)

勘定科目	権利擁護事業	移動情報センタ 一事業	福祉活動推進事 業	中区社協助成金 配分事業	福祉基金	合計	内部取引消去	拠点合計
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	1,780,000	0	1,780,000
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	1,780,000	0	1,780,000
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	1,780,000	0	1,780,000
< 支出 >								
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	2,630,000	0	2,630,000
車輻運搬具取得支出	0	0	0	0	0	2,630,000	0	2,630,000
施設整備等支出計(5)	0	0	0	0	0	2,630,000	0	2,630,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	0	0	△850,000	0	△850,000
< その他の活動による収支 >								
< 収入 >								
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	1,804,000	△1,804,000	0
その他の活動収入計(7)	0	0	0	0	0	1,804,000	△1,804,000	0
< 支出 >								
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	1,804,000	△1,804,000	0
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
リサイクル料預け金支出	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
その他の活動支出計(8)	0	0	0	0	0	1,824,000	△1,804,000	20,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	0	0	△20,000	0	△20,000
予備費支出(10)	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	△331,000	△30,000	0	110,000	△53,743,000	0	△53,743,000
前期末支払資金残高(12)	0	331,000	30,000	0	0	66,248,000	0	66,248,000
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	110,000	12,505,000	0	12,505,000